

国立大学法人群馬大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和4年12月16日(金) 国立大学法人群馬大学 本部管理棟5階特別会議室	
委員	委員長 田中 恒夫 (前橋工科大学教授) 委員 小磯 正康 (弁護士) 委員 平田 稔 (公認会計士, 税理士)	
審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
抽出案件(合計)	9件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ての審議は無し。 個別審議については、事務局から説明を行い、質問に対して回答した。
工 事(小計)	40件	
一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札(上記工事を除く)	15件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	25件	
設計・コンサルティング業務(小計)	5件	
公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	3件	
標準型プロポーザル方式	0件	
一般競争入札	0件	
随意契約	2件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

意見・質問	回答
<p>1. 群馬大学において発注した建設工事について</p> <p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 群馬大学において発注した設計・コンサルティング業務について</p> <p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3. 個別審議案件について</p> <p>【群馬大学（草津）共同利用研修施設等とりこわし工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格と入札価格がかなり乖離しているが、予定価格の設定に問題はないのか。 ・低入札調査結果の判断理由に、手持ちの資機材を使用するなどして経費を削減しているところがあるが、手持ちであるか外部発注であるかで、こんなにも価格に差が出るものなのか。 ・低入札調査にあたり、書面の提出期限は設定しているのか。 ・低入札調査は、業者が提出した書面のみで行っているのか。 ・最低基準価格を大幅に下回った場合に、再入札にはならないのか。 <p>【群馬大学（荒牧）10号館外壁・屋上防水改修工事】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格は、事前に見積を徴取し査定率を掛けて積算しており問題はないと考えている。4月に公告しており、工事が少ない時期であるため、競争性が働き低入札業者が7社になったと考えている。 ・解体工事であり、ほとんどが労務費になる。業者が自社で重機を保有しているため、リース費用がかからないこともあり経費を削減できたと考えている。また、アスベスト撤去作業を自社で行うことができたため、経費を削減できたと考えている。 ・設定はしていないが、可能な限り速やかに提出してもらっている。 ・書面調査に加えて、財務諸表の確認や業者のホームページにて資機材の所有状況などを確認している。 ・低入札調査を行い、入札価格が妥当ではないという判断になれば、再入札になることもある。 ・または、次順位の業者と契約することもある。

<p>・本件も低入札となっているが、その原因は何であったか。</p> <p>・欠格理由は何であったのか。</p> <p>【群馬大学（昭和）生体調節研究所他空調設備改修（I期）工事（再度公告）】</p> <p>・落札率が99.7%と高いが、予定価格の管理は大丈夫か。</p> <p>・再度公告で、予定価格が10万円だけ上がっているが、見直しはしているのか。</p> <p>【群馬大学（荒牧）総合研究棟（情報学系）（仮称）新営工事】</p> <p>・ヒアリングはどのような内容であったか。</p> <p>・A社とB社の入札金額は同じであるが、採点の違いはどこにあったのか。</p> <p>・本件は、特別重点調査の対象だったのか。</p> <p>【群馬大学（昭和）しらぎく棟改修電気設備工事】</p> <p>・最初の入札から1,000万円弱下がった原因は何であったか。</p>	<p>・価格の約半分が仮設材料となっており、予定価格と著しい差となっている。これは、協力業者から安く仕入れることができるためであると確認している。</p> <p>・本件では、資格要件として「1級建築施工管理技士又はそれと同等と認められる者」としていたが、欠格となった2社については、この資格要件を満たしていなかった。</p> <p>・予定価格は、金庫に保管しており、関係者以外が見ることはないので、漏洩することはないと考えている。</p> <p>・予定価格と内訳書を比較してどこに違いがあったのかを確認している。電気設備と機械設備の割合等を変更している。</p> <p>・例として、1社については、一般管理費等の額が、予定価格の30%を下回っていたことについて、ヒアリングを行ったところ、今回の工事を受注したく利益率を低く抑えた旨、回答を得ている。</p> <p>・競争参加資格等審査委員会において、「工程管理に係わる技術的所見」、「安全管理に留意すべき事項」について審議を行い、その評価結果が主な違いとなっている。</p> <p>・特別重点調査の対象工事であったが、該当する業者がなかったため実施していない。</p> <p>・予定価格と比較して、幹線・電話・情報設備が割高であった。</p>
--	--

<p>【基礎医学棟 GHP305 系統空調室外機更新工事、基礎医学棟 GHP503 系統空調室外機更新工事、基礎医学棟 GHP111 系統空調室外機更新工事】</p> <p>・分割発注ではないのか。</p> <p>【群馬大学（荒牧）総合研究棟（情報学系）新営設計業務】</p> <p>・プロポーザル方式の類型として、国の基準では、予定価額が 5,000 万円以上 6,900 万円未満は簡易公募型プロポーザル、5,000 万円未満は簡易公募型プロポーザル（拡大）となっているため、本件は（拡大）ではなく通常の簡易公募型の案件と表示されるのではないのか。</p> <p>・技術提案書の評価はどのように行っているのか。</p> <p>4. 取引停止等の措置状況について</p> <p>（事務局より説明）</p> <p>・特になし</p> <p>5. 再苦情の申立状況について</p> <p>（事務局より説明）</p> <p>・特になし</p> <p>【講評】</p> <p>・適正な入札手続が取られている。引き続き適正な手続きをお願いしたい。</p>	<p>・内訳書を確認したところ、社会情勢から資材高騰を考慮して査定率が高く設定されていたため、実情に合わせて下げられるのでは等、協議した。</p> <p>・真冬のため、空調の負荷が大きい時期であり故障が起こりやすく、その都度、発注した工事であり分割発注したわけではない。</p> <p>・当初、概算で 5,000 万円未満と想定していたため、簡易公募型プロポーザル（拡大）として公示していたが、公示後、予定価格を積算した結果、5,000 万円を超えることになった。</p> <p>・競争参加資格等審査委員会で審議している。</p>
--	---